



大山たか子通信

# 高ちゃんつうしん

\* 2013.1 No.36 \*

市議会：087(839)2831

自宅：087(888)3272

eメール：takachan@mxi.netwave.or.jp

HP：http://wwwi.netwave.or.jp/~takachan/



さあ！！新しい時代がやってきました。決意も新たに大前進ですね。



昨年中は皆様の真心からのご支援に心より御礼申し上げます。良い年にするのも後悔を残す年にするのも、全ては自分自身です。今年も癸巳(みずのとみ)年ですが、蓄積してきた力を使って、時代を変えていくという意図があるものです。まだまだ蓄えてきた力は微々たるものですが、市民の皆様の安心 安全のために異体同心の団結でしっかり働いて参る決意です。今年も尚一層何卒よろしくお願い致します。



## \* H24年11月30日高松市議会公明党議員会として、2013年度予算編成に関する要望書を大西市長に提出致しました \*

最重要課題として①コミュニティを軸とした協働のまちづくり②防災・減災対策の着実な推進③健康で生きがいのある総合福祉対策など8つの柱を中心に134項目を提言致しました。特に災害時の情報伝達手段の充実、公共施設の耐震化、ゲートキーパー事業などの自殺対策の推進などを求めました。



## 1月2日新春街頭演説を行いました。



瓦町駅前にて山本ひろし参院議員と県議会、市議会のメンバーで街頭演説会を開催しました。いつものように寒い中ではありましたが、しっかりと昨年の御礼と庶民の為の政治を貫くことをお訴え致しました。

## ～山本ひろし参院議員新年の抱負～

皆様のご支援で国政におくっていただき、現場をまわり、切実な声をお聞きするたびに「何とか解決をしたいの思い」で取り組んできた国会質問は118回。

働く障がい者を支援する「障害者優先調達推進法」、全国74の島々をまわり推進した抜本的な「改正離島振興法」、白血病や血液の難病に苦しむ患者を救い山中教授のiPS細胞研究への橋渡しになる「造血幹細胞移植推進法」など議員立法成立にも取り組んで参りました。これからも「どこまでも一人のために」「現場第一主義」に徹し、人間主義の政治を貫いて参りますので、宜しく願い申し上げます。

参議院議員 山本博司



山本ひろし参院議員と一緒に街頭演説を行いました。

## ～ 3月(質疑) 議会報告 ～



①本市の防災会議、防災担当者、また防災担当課への女性登用の現状についての感想と今後の積極的な女性登用について②仮称、女性防災部会を設置し、その意見を防災会議に意見集約するしくみづくりについて③防災担当課と男女共同参画推進室との協議・調整の定例化等について④災害時指定職員における女性配置割合の現状と避難所運営における役割を事前に決めておく考え⑤女性消防団員の増員と積極的な活動についての考え

### 女性の視点を生かした防災対策について

①今後、高松市防災会議の委員につきましては、関係機関への可能な限り女性の推薦を依頼するとともに、本市の防災業務への女性職員の積極的な登用にも努め、防災分野への女性の参画を拡大したい。  
②女性委員の割合を高める中で、女性の意見をより反映させる手法として研究していく。

①保健センターでの健康相談窓口の相談体制の充実と更なる市民への周知について②在宅医療について出前講座を開催し、市民への理解促進を図ること③現在のがん教育の実施状況と県条例で盛り込まれた意義を踏まえた今後の取組④託児付きがん検診でのアンケート調査結果の状況と、来年度以降の実施について⑤来年度以降、市民団体等の応援を得て、更なる受診率の向上に取り組む考え

### がん対策について

④託児付きがあったため、受診したと答えの方は62%で、そのほとんどの方が託児があるので安心して検診を受けることができたとの結果で、新年度から実施会場を拡大する方向で検討していく。

①障害者への紙おむつ給付について、国の重度障害者日常生活用具給付事業または市単独の紙おむつ給付事業のいずれかで給付対象を拡大すること②本市でもバリアフリーマップ等を作成し、市のホームページに掲載すること

### 福祉関係について

①この度の包括外部監査の意見から、この事業を含め検討チームを設置し、様々な観点から見直しの要否を検討することとしているので、その検討段階の中で重度日常生活用具給付事業での拡充も含めて、適切に対応していく。

①障がい者や高齢者が住替えできる基準を今後弾力的に運用すること②市営住宅の入居について、住み続けることが困難な住宅を所有する場合の条件緩和基準を設けること

### 市営住宅について

①それぞれの状況に応じて、可能な限り、柔軟に対応していく②今後、他都市の状況を調査研究し、客観的で公平性を持った基準を検討していく

## ～ 9月(代表質問) 議会報告 ～



①今回の赤字国債発行法案における政府対応についての所見②23年度一般会計決算についての所見③来年度予算編成方針

### 財政について

①22～23年度実績に対する所見と次期行財政改革計画策定の留意点②今回の事業仕分けの感想と来年度以降の実施等について

### 第五次行財政改革計画について

①中心市街地と田園地域が連携する高松コンパクト・エコシティ特区にかける思いと今後の課題②道州制を見据えた更なる地域活性化策についての所見、中心市街地と田園地域が連携する高松コンパクト・エコシティ特区にかける思いと今後の課題

### 地域活性化について

②瀬戸高松広域自立圏の中心市として、近隣自治体との水平補完に基づく広域的な事業展開によって、地域の魅力を更に高め、暮らしや経済など、様々な面において中心拠点性を担っていくことが本市の使命であり、今後も積極的に地域活性化策を講じていく。



①市民目線に立った更なる行政サービス向上の取組②地域行政組織再編に合わせて総合窓口を設置していくこと③コンビニにおける証明書等の交付について④障がい福祉課において申請方式になっているサービス等について丁寧な対応を行うこと⑤特に福祉分野全般の中で、現金給付等のサービスを受けるための申請方式事業の中で、市民の側に立った丁寧な対応を実施すること

### 市民サービスについて

②地域行政再編計画基本構想案で、現行の支所・出張所を新たに、総合センターと地区センターに再編することとしており、総合センターは、現在、支所で取り扱っているサービスに加え、市民ニーズに高い行政サービスを提供し、住民の福祉や利便性の向上をはかることとしている。今後本庁での対応も含め、できる限り多くのサービスが一つの窓口で受けられるよう検討していく。③利用可能なコンビニの店舗数の推移などを見きわめる中で、費用対効果も勘案し、コンビニ交付サービスへの対応を検討していく。

①障害者優先調達推進法に対しての所見と今後の取組②総合評価落札方式における状況と課題、また今後の取組③来年度に向けた本市法定雇用率に対する取組について④長期就労ができる支援体制について⑤企業等への理解促進について

### 障がい者の就労支援について

①国の動向を注視ながら、本市の地域性や実情も踏まえた調達方針の策定に取り組むと共に、障害者就労施設等への優先発注の取組を一層推進していく。

①昨年の大腸がんの無料クーポン券検診の受診結果についての所見②がん検診推進事業実施要綱を受けての大腸がん無料クーポン券事業における対象者への利便性に配慮した取組方法について③夜間検診実施について④事業者の責務をどのように果たさせていくのか

### がん対策について

③現在は、夜間検診までは考えていないが、今年度実施するがんの予防・検診に関する市民アンケートの結果も踏まえ、受診者の利便性が図られるように適切に対応する。

①男性の育児休業取得率が低い現状についての所見  
②本市男性職員の育児休業取得率向上の為の取組と民間企業への支援策

### 少子化対策について

①事業仕分けで不要判定が出た「事業所用太陽光発電システム設置費補助事業」は今後どうするのか②太陽光発電システム導入に対して、市民が取組やすい制度を考えることについて③本市の太陽光パネル設置などによる固定価格買い取り制度を活用した取組④バイオマスの利活用を市民と一緒に構築するバイオマス活用推進計画策定について  
⑤使用済み小型電子機器等に含まれるレアメタル等の回収の取組

### 環境問題について

③屋島陸上競技場などの施設の再整備や新設などに合わせて、太陽光パネルの設置を進め、市有の遊休地等についても、国の補助制度や固定価格買い取り制度の活用ができないか検討していく。⑤本庁や支所、出張所などに回収ボックスを設置し、使用済み小型電子機器等を回収するモデル事業を広域的に実施し、その結果を踏まえ、実効性のある使用済み小型電子機器等のリサイクルに取り組んでいく。

①いじめが根絶できない背景と大津市の教育委員会の対応についての所見  
②今後、学校と関係各機関との連携について③親へ「子どものいじめ」に気付くチェックリストの配布と初期対応についてのマニュアル化について④子ども目線のいじめ相談電話カードの作成⑤一刻も早く教育クラウドによる校務支援システムの構築等を進めること⑥いじめ根絶への決意⑦通学路の緊急合同点検の実施状況⑧点検結果を踏まえて目に見える対策を迅速かつ計画的に実施することについて⑨教育委員会として今後の通学路の安全対策に一定基準を設定し、予算を確保して取組むこと、また今後、どういう形で継続していくのか

### 教育問題について

③各家庭にいじめの発見のチェックリストや初期対応マニュアルを配布することは有効であるので、それらの作成について検討していく。⑤より一層の業務の効率化を図る為、高いセキュリティを基盤としつつ、全市で統一した使用環境が整う教育クラウドを本年度内に構築していく。また教育情報の整理や教職員へのサポート体制、学校との連携など校務支援システムについては、来年度以降の適切な時期に導入できるように努める。⑥合同点検終了後、まず地域や保護者に対し、周知啓発していく。また整備補修が必要な危険箇所については、道路管理者など各関係機関に対し、改善を要望していくほか、難しい箇所については、各学校に対して、地域と連携しながら通学路の見直しを行うことや児童生徒への指導の徹底を図る。





## 高松市放課後児童クラブの利用時間が延長され、対象者も拡大されました！

小学生の下校後、共働きや一人親家庭で児童の生活指導が難しい家庭の子育てを応援する高松市の放課後児童クラブの対象児童が、24年度から小学校4年生まで拡充されました。また利用時間も平日が午後6時30分まで延長され、急な残業などの場合、午後7時まで延長されることになりました。(一回100円)

以前より子育て中のお母さんから、保育所では夜7時まで預かってくれるのに小学生になったとたん夜6時までとなり大変困っています。また、一人親家庭のため、3年生まででは女の子一人の長期休業中の時など心配ですとか。様々ご意見を頂き、何度も議会で改善を求めて参りました。24年度から対象となった小学校4年生の登録者数は、5月1日現在で、191人となっており、ニースの高さが表れていました。これで完全とは言えませんが、これからはしっかり子育て支援をして参ります。



## 高松市の乳幼児医療費助成事業の対象が、入院に限り小学校卒業まで無料に拡充しました。

H24年8月1日から乳幼児医療費助成事業の対象が、現行の入院・通院が就学前まででしたが、入院に限り、小学校卒業までに拡充致しました。議員になってより何度も議会で要望し、市議会公明党の予算要望でも機会あることに訴えて、やっとやっと前進致しました。具体的には、入院の保険診療に掛かる医療費の自己負担部分が、申請書を提出した後に払い戻されます。(償還払い)新たに対象となる小学生は約2万4000人になるとのことですが、今後は現物給付ができるようにしていきたいと思ひます。



## ！！ネットワーク政党公明党！！

マザースハローワークに授乳室と紙おむつ交換場所が設置されました。



昨年の5月に若いお母さん方との懇談会のあり、ハローワークでの授乳や紙おむつ交換場所の設置要望をいただきました。今の時代小さい乳幼児を抱えながら必死に働く場所を求め、ハローワークに通うお母さんがいる中で、悲しいかなトイレで授乳をすることがあるというお話をした。早速山本参院議員と連携をとり、設置に動いていただき、10月に設置することができました。

## あっちこっち高ちゃん



9月22日高松中央ライオンズの一員として日本対ガン協会のほほえみ基金を活用した乳がん無料検診を主催しました。当日は102名の女性が受診され大変喜んで頂きました。

編集後記 10ヶ月ぶりのご無沙汰です



高ちゃん通信が昨年是一回しか発行できず、知り合いの方からも「最近高ちゃん通信見てないね?」と言われたり・・・やっと36号が完成です。掲載したい内容はたくさんありましたが紙面の都合でこんな感じです。・・・今年はおうしまめに発行して参ります。